

## 成績評価、GPA 制度について

### 成績に関する基本事項

一般的には、「授業に参加」し、自宅での「自主学習」を行い、授業中に与えられる「レポートなどの課題」をこなし、「期末試験を受験」することにより、成績評価がなされます。細かくは、科目毎に定められていますので、各科目の科目概要を確認してください。

### ●成績評価基準

評価基準に示される評価の内容は、下記の通りです。

本学の評価基準（全学統一基準）	
評価	基準
S	所期の学習目標をほぼ完全に達成しており、かつ傑出した水準に達している。 100点技法では、Sは90点以上
A	所期の学習目標をほぼ完全に達成している。80～89点以上に対応。
B	不十分な点はあるが、所期の学習目標を相当に達成している。70～79点に対応。
C	所期の学習目標の最低基準は満たしている。60～69点に対応。
D	所期の学習目標を満たしておらず、単位を付与する水準に達していない。60点未満に対応。
K	出席回数が規程に満たない、または、試験を受験せず放棄した。
G	S・A・B・C判定しない科目で「合格」基準を満たした。
N	他の大学・短期大学・専門学校等で取得した単位・資格取得等による単位を認定。

### ●成績評価分類

成績評価は以下のように分類され、合格の場合は、各科目に定められた単位数を修得できます。

#### 成績評価基準

評価	得点	合否	評価	得点	合否
S	100点～90点	合格	G	—	合格*
A	89点～80点	合格			
B	79点～70点	合格			
C	69点～60点	合格			
D	59点以下	不合格			
K	—	棄権			

評価	得点	備考
N	—	認定**

\* 科目によっては「G」（合格）と表記される場合もあります。

\*\* 以前に在籍した学校等の単位で本学において単位認定した場合や単位付与の条件を満たした一部の科目では「N」と表記されます。

### 成績通知

前期と後期の年2回、『nfu.jp』上で学生に対し、成績通知を行います。進級・卒業条件も確認しながら、自らの状況を把握し、学習計画を立てることが必要です。

## ●成績通知日

年度毎に学年暦で確認してください。

※追試験や一部の集中講義については、成績通知日が異なります。掲示等で案内するので、注意して確認してください。

## ●成績の確認方法

成績通知の内容は、『nfu.jp』の「成績照会」で確認することができます。

成績照会では、下記の成績情報を確認することができます。ただし、成績結果等について電話やメールでの問合せは答えられません。『nfu.jp』から成績結果を印刷の上、窓口まで来るようにしてください。

- ① 単位修得状況：単位修得の全体状況を表示。修得済みの単位数のほか、現在履修中の科目の単位数、（後期には）前期で修得した単位数と不合格になった単位数が確認できます。
- ② 見込判定：進級・卒業・資格取得が可能かどうかの見込状況が確認できます。
- ③ 開講年度別一覧：各年度に履修登録した科目の成績が表示されます。
- ④ 集計区分別一覧：「総合基礎科目」や「専門科目」などの科目区分毎の履修科目の成績が確認できます。
- ⑤ GPA：各年度の学期毎のGPAが確認できます。

## ●成績評価の調査

各科目の成績評価の方法については、各科目の科目概要に示されます。この基準に照らし合わせてみて自らの成績に納得がいかない場合、「D」・「K」評価に限り成績調査を申し出ることができます。ただし、下記の点に注意してください。

- ① 「S・A・B・C」等、単位認定を受けた評価変更に関わる調査は受け付けません。
- ② 出席日数が足りない場合や根拠が不明確な依頼に対する調査は一切受け付けません。
- ③ 成績調査期間は、原則成績通知後1週間以内ですが、変更される場合があります。その場合は、掲示等によって案内しますので、注意して確認してください。

## GPA 制度

GPA (GradePointAverage) とは、ある期間に履修した各科目の成績評点 (GradePoint) に、その科目の単位数を掛けた数値の総和を総履修単位数で割った数値をいいます。これにより、各科目の評価をまとめて一つの成績指数として表わすことができます。

単位制度は、みなさんの学修状況を、修得単位数による卒業・進級までの学修進捗度と個々の科目の評価 (=学修到達度) で把握することができますが、全体としての学修到達度の把握が難しいという面がありました。GPA 制度により、大学の学修全体の学修到達度も客観的にみる事が可能となります。

例えば、2年次修了時点で以下のような単位修得状況の学生がいたとします。

福祉太郎 修得単位数 76 単位 GPA3.8 福祉次郎 修得単位数 90 単位 GPA2.5

この場合は福祉次郎さんの方が単位修得状況は良好ですが、学修到達度 (学習目標の到達度や学修状況) は福祉太郎さんのほうが高いことが分かります。

## 本学における GPA 制度

本学における GPA は、2020 年度新入学生から以下の方式で計算されます。

### ●GPA の基準・算出方法

#### 【基準】

評点	100 - 90	89 - 80	79 - 70	69 - 60	59 - 0	棄権
評価	S	A	B	C	D	K
ポイント	4	3	2	1	0 (*)	0 (*)
	合格				不合格	

\* 「N や G で評価する科目」は評価に関わらず除外しますので、D・K 評価であっても算定に含みません。

\*\* 「自由科目(資格独自科目)」は評価に関わらず除外しますので、S～C、D・K 評価であっても算定に含みません。

#### 【算出方法】

- ① 基準に照らし各期間に履修した科目評価を数値換算する。
- ② 換算した数値を各科目に乗じた総和を履修単位数で除した数字。

(N評価・G評価で評価する科目、自由科目(資格独自科目)を除外した)

{S(4)×単位数+A(3)×単位数+B(2)×単位数+C(1)×単位数+D(0)×単位数+K(0)×単位数}

(N評価・G評価で評価する科目、自由科目(資格独自科目)を除外した)履修単位数

#### 【算出例】福祉太郎さんの場合

科目名	科目区分	履修単位数	評価	修得単位数	GP 換算	GPA 算出 使用単位数
社会学	総合基礎科目	2	K	0	0	2
経済学	総合基礎科目	2	B	2	2	2
医学概論	専門科目	2	C	2	1	2
臨床心理学	専門科目	2	S	2	4	2
ビジネススキル	自由科目	2	G	2	—	—
保育職論	自由科目(資格独自科目)	2	B	2	—	—

上記の例では、単位数の見方は履修単位数 12 単位 (GPA 算出に使用するのは 8 単位)、総修得単位数は 10 単位、修得要卒単位は 6 単位となります。

GPA は  $2 \times 0 + 2 \times 2 + 2 \times 1 + 4 \times 2 \div 8 = 1.75$  となり、「1.75」となります。

※ GPA は、不合格 (D) や棄権 (K) を含めて計算します。このため、棄権科目や不合格科目があると、GPA 数値が低くなります。

履修登録に際して、安易な科目選択はおこなわないようにするとともに、実際に受講してみて自身の学習志向や興味・関心に合致しない場合は、履修登録期間・履修登録修正期間に履修を取り消すなどするようにしてください。

履修登録に際して、安易な科目選択はおこなわないようにするとともに、実際に受講してみて自身の学習志向や興味・関心に合致しない場合は、履修登録期間・履修登録修正期間に履修を取り消すなどするようにしてください。

## GPA に応じた段階表示とコメント

段階表示	範囲	コメント（学期ごとに表示）
V	3.0～4.0	大変良好な学修状況です。
IV	2.5～2.9	良好な学修状況です。
III	2.0～2.4	もう少し積極的に学修しましょう。
II	1.5～1.9	履修科目について、しっかりと学修しましょう。
I	0～1.4	履修登録段階からの計画を含めて学修全体の見直しが必要です。 学修相談を行ってください。

### ●GPA の活用

GPA の数値は、資格課程の登録や、大学院の審査基準などに活用される場合があります。その場合は、それぞれの要項などにその旨が記載されますので、注意して確認してください。